

平成 27 年度全国保健師長会 市町村部会活動報告

全国保健師長会加入促進に向けて

～未加入市町村と都道府県支部への調査から～

平成 28 年 3 月

全国保健師長会

市町村部会

目 次

I はじめに

II 調査目的

III 調査方法

IV 調査結果

V 考察

VI まとめ

VII おわりに

参考

1、都道府県支部用調査票

2、未加入市町村用調査票

I はじめに

全国保健師長会は、今年度の最重点活動目標として「会員数の拡大」を掲げ、特に市町村保健師のリーダー的役割を担う会員の加入促進を図ることとしている。

平成 26 年度全国保健師長会加入率（※）は、市町村保健師が 24%で、都道府県の 64%や政令市等の 58%と比べかなり低い状況となっている。

そこで、全国保健師長会市町村部会は、都道府県支部及び未加入市町村を対象とし他加入促進に向けたアンケート調査を実施したので報告する。

II 調査目的

市町村保健師の加入状況について実態把握及び分析を行い、加入促進の取組資料とするとともに、好事例の収集と発信を行うことにより、市町村会員拡大につなげることを目的とした。

III 調査方法

1、本会の支部長を対象としたアンケート調査

(1) 調査対象

全国保健師長会の都道府県支部長（47 支部）

(2) 調査期間

平成 27 年 10 月 26 日～同年 11 月 30 日

(3) 調査方法

調査票は Excel データで作成した自記式質問紙をメールで送り、メールで回収した。

(4) 調査内容

調査内容は、①市町村別加入状況及び市町村別未加入状況、③各支部の年会費と活動状況、④未加入の背景（主観的意見で可）、⑤勧誘対策の実施状況と取組内容、工夫点、⑥自由意見とした。

※加入率の算定について 厚生労働省保健師活動領域調査結果から係長以上の保健師数を分母とし、会員数から算定した。

2、本会に未加入の市町村保健師（代表者）を対象としたアンケート調査

(1) 調査対象

全国保健師長会に未加入の市町村保健師（834 自治体）の代表者

(2) 調査期間

平成 27 年 10 月 26 日～同年 11 月 20 日

(3) 調査方法

調査票は Excel データで作成した自記式質問紙を支部長にメールで送信、メールでの回収を依頼。その後支部長よりメールで回収した。

(4) 調査内容

調査内容は、①全国保健師長会の認知、②未加入の理由、③支部等からの加入の働きかけの有無、④加入の働きかけの内容、⑤自由意見とした。

3、倫理的配慮

調査対象者には、趣旨を理解し、調査への協力は対象者の自由意思で決定して良いこと、調査で得た情報は研究以外の目的で使用しないこと、調査結果を全国保健師長会の活動報告書やホームページ等で公表することなどを説明した。研究協力への同意は、調査の回答をもって得られたこととした。

また、個人名・自治体名・機関名等が特定されないよう、プライバシーの保護を厳守し、好事例については、同意の上公表することがあることなどについても説明した。

IV 調査結果

1、本会の都道府県支部長を対象としたアンケート調査

(1) 市町村の加入状況

全国 47 都道府県すべての支部長から回答が得られた。支部長から加入の有無について回答が得られた市町村数は 1,545 件で、このうち加入市町村は 711 件で 46%、未加入市町村は 834 件で 54%であった (図 1)。

加入市町村の内訳は、市が 65%、町が 32%、村が 3%だった (図 2)。一方、未加入の市町村内訳は、市が 24%、町が 59%、村が 17%となっている (図 3)。また、未加入市町村がない支部が 4 カ所あった。

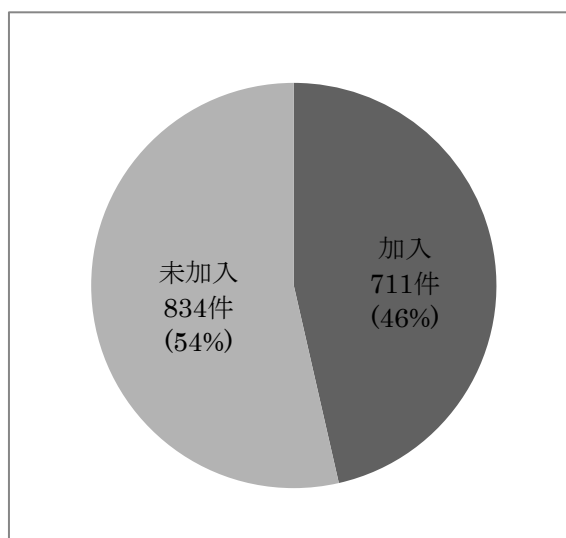


図 1 市町村の加入状況

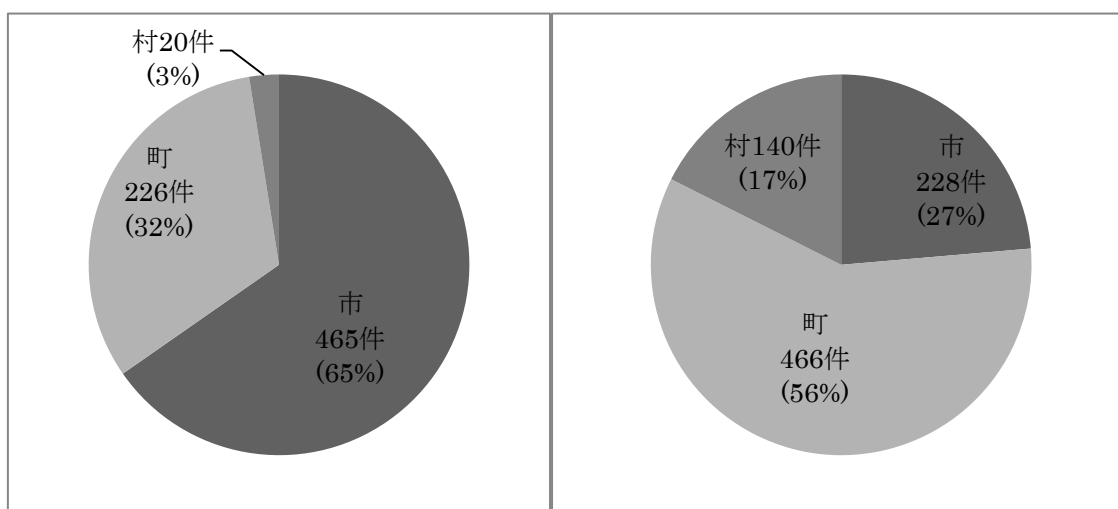


図 2 加入市町村の内訳

図 3 未加入市町村の内訳

市町村ごとの加入割合を見てみると、市が一番多く 67.1%、次いで町が 32.6%、村は 12.5%となっている（図 4）。

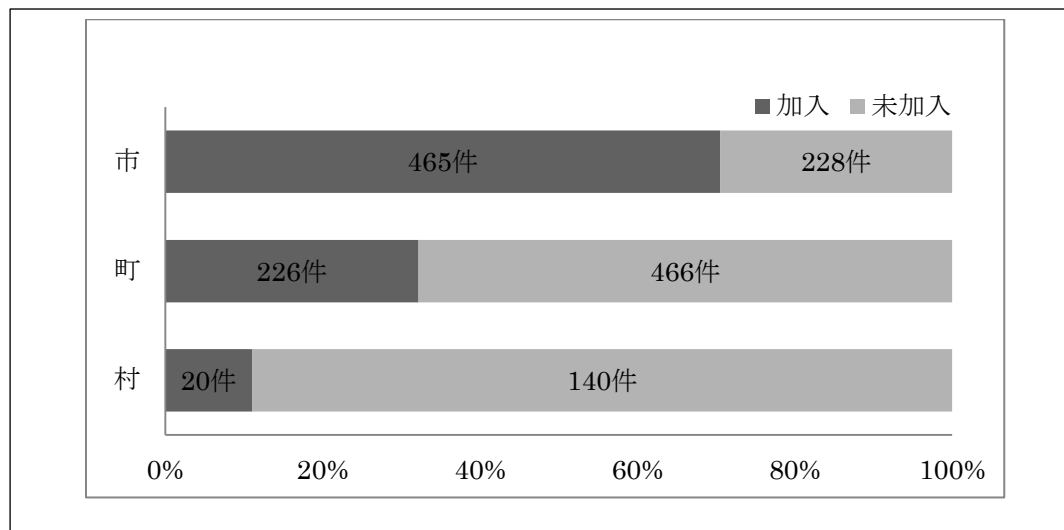


図 4 市町村別の加入状況

(2) 加入の形態

加入の形態をみると、代表保健師のみの加入が 223 件で 31%であるのに対し、代表保健師以外も加入している市町村は 488 件で 69%と割合が多かった。これは、人口規模が大きく保健師の配置人数も多い市の加入人数が多い状況によるものと考えられる（図 5）

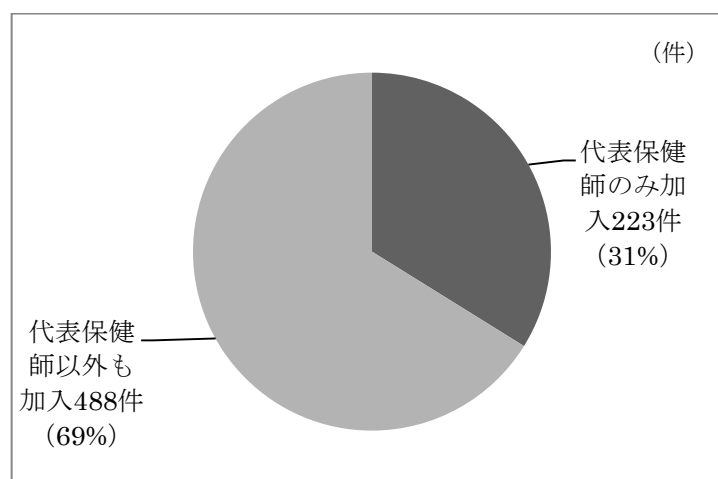


図 5 加入の形態

(3) 支部の年会費

支部の年会費については、会員数が多い市で少額の傾向にあった。支部会費は2,000円～5,000円の範囲が多く、3,000円が17支部と一番多かった。また、年会費が無料や500円の支部は、都道府県の幹部職員の保健師のみから会費を徴収する、年会費を設けず研修会の開催時に係る経費を徴収する等、会費があることで入会を躊躇することがないように工夫されていた(図6)。

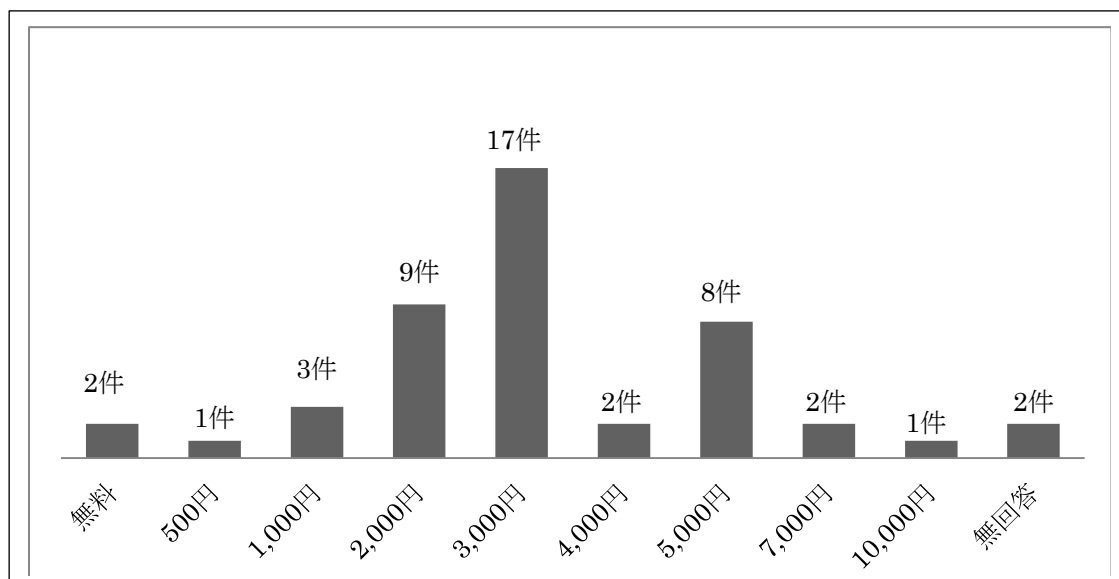


図6 支部会費の状況

(4) 各支部の事業内容

各支部における事業内容としては、45の支部で総会及び研修会を開催しており、研修会の回数は1~2回が36支部、3~5回が9支部であった。

研修内容をみると、各支部とも多岐にわたる分野の研修会を開催しており、講師は支部管内もしくは近郊の大学等に依頼している支部が多かった(表1)。

また、会員拡大に向けて有料(500~1,000円程度)や無料で非会員の研修参加を募っている支部も多く、研修時に情報交換や交流を行っている支部もあった。

表1 支部の研修内容

【地域づくり】	「公衆衛生における地域力の醸成」
	「地域診断」講演・実践報告・グループワーク 看護協会との合同研修
	「保健師の力を活かしたまちづくり」
	「地域を基盤とした保健活動～健康なまちづくりの推進～」講演・グループワーク
	「地域全体の健康度アップを目指せ！～住民を動かすために保健師として何ができるかを考える～」
	「しっかりつかもう住民の思い」

【人材育成・ 能力開発等】	「やる気を育てる人材育成」研修会・意見交換
	「人材育成研修」
	「県保健師人材育成ガイドラインについて～目指す姿は保健師八策～」
	「県中堅期・管理期保健師人材育成プログラム作成について」講演・グループワーク
	「保健師分散配置の中での人材育成」意見交換会
	「人材育成ガイドラインを活用した現任教育体制づくり」意見交換
	「人材育成からみた管理期保健師に求められる役割」
	「人材育成上手になろう ～ベップトークの活用～」
	「信頼されるリーダー保健師になるために」
	「先輩保健師の活動に学ぶ」
	「中堅保健師の研修について」
	「OJT の取り組みにおける管理期保健師の役割(仮題)」講話及びグループワーク
	「保健師の原点回帰」
	「保健師に期待すること」(2 支部)
	「現在・過去・未来 これからの管理期保健師の姿」パネルディスカッション
	「保健師のキャリアラダーと教育」
	「保健師リーダーの役割」意見交換会
	「保健師リーダーとしてどのような役割を果たせるか」意見交換
	「保健師リーダーに望むこと」
	「保健師の活動の質を評価する評価指標の活用」
	「実践力 Up のための事例検討会の必要性とその方法」講義・演習
	「今後の保健師活動について」
	「保健師の部門横断的連携の必要性」実践報告
「保健師への手紙～ある公衆衛生医・卒寿の思い」	
(仮)「保健師が住民からうける不当行為(暴力)」	
「在宅医療推進のてがかりと保健師への期待」	
【ソーシャルキ ャピタル】	「保健師の地区活動と住民組織活動を通じたソーシャルキャピタルの醸成」 研修会・意見交換
	「ソーシャルキャピタルの醸成」コミュニティヘルスのある社会へ ～「つながり」が生み出す「いのち」の輪～
	「ソーシャルキャピタルと保健師活動～地区活動を推進する力をどう育てるか～」
	「ソーシャルキャピタルの醸成とそれぞれを活用しての地域活動について」 講演・グループワーク

【統括保健師】	「統括保健師について」情報交換・研修
	「統括保健師の配置について」情報交換会・実践報告
	「統括的立場の保健師の機能と役割、位置づけについて」 ～求められる活動への提言、話し合いのコーディネート、合意形成スキル～ 講演・意見交換
	「地域保健師活動と統括保健師」
	「統括保健師の配置を推進する」講演・グループワーク
【地域包括ケアシステム】	「地域包括ケアシステムの構築と保健師の役割」講演・実践報告・グループワーク 看護協会との合同研修
	「地域包括ケアシステムの構築と医療・介護連携の推進」
	「地域ケアシステムの構築と医療・介護連携の推進」
	「地域包括ケアシステム構築における統括保健師の役割について」意見交換会
	「管理期にある保健師の確かな歩みを進めるために」 ～わが町の地域づくり(地域包括ケアシステム)～
	「地域包括ケアの推進について」「地域医療構想(ビジョン)の策定について」 講義・意見交換会
	「包括ケアシステムにおける保健師の役割」講演・グループワーク
	「地域包括ケアシステムについて」
	「地域包括ケアシステムの構築における保健師の役割」
	「保健師の役割を活かした地域包括ケア」講演会・情報交換
【災害・危機管理】	「災害時の保健師活動」
	「大規模災害時の保健活動に求められる管理者の機能」
	「対人援助職の心のケア～被災地から～」
	南海トラフ地震対策関連研修
	「災害時の保健師の役割について」
	「危機管理対応 鳥インフルエンザ発生時の対応から学ぶ」
【公衆衛生】	「最近の保健活動の動向について(仮題)」
	「健康格差対策における保健福祉行政の役割 ～健康日本 21(第2次)の評価に向けて～」
【健康づくり】	「感染症」
	「県の健康問題と保健師に期待すること」
	「アルコール問題の理解と予防対策を考える～健康障害対策基本法をふまえて～」
	「ストレスをためない人との付き合い方」
	「保健師の精神保健活動の現状と課題」
	「発達障がいの理解と対応」
	「ロコモティブシンドローム」

【保健師活動】	保健師大会 「みる」「つなぐ」「動かす」これからの保健師活動
	全国保健師長会総会、研修会・ブロック研修会・保健師人材育成等研修会等の報告会及び伝達(復命)研修
	ブロック研修会への活動事例提出
	上映会「日本の保健師さん」

(5) 加入促進に向けての取組

会員の加入促進に向けた取り組みについては、47支部中45支部が実施しており、保健所からの勧誘が32支部、支部からの勧誘が24支部、昇任と同時に勧誘が23支部であった。(図7)

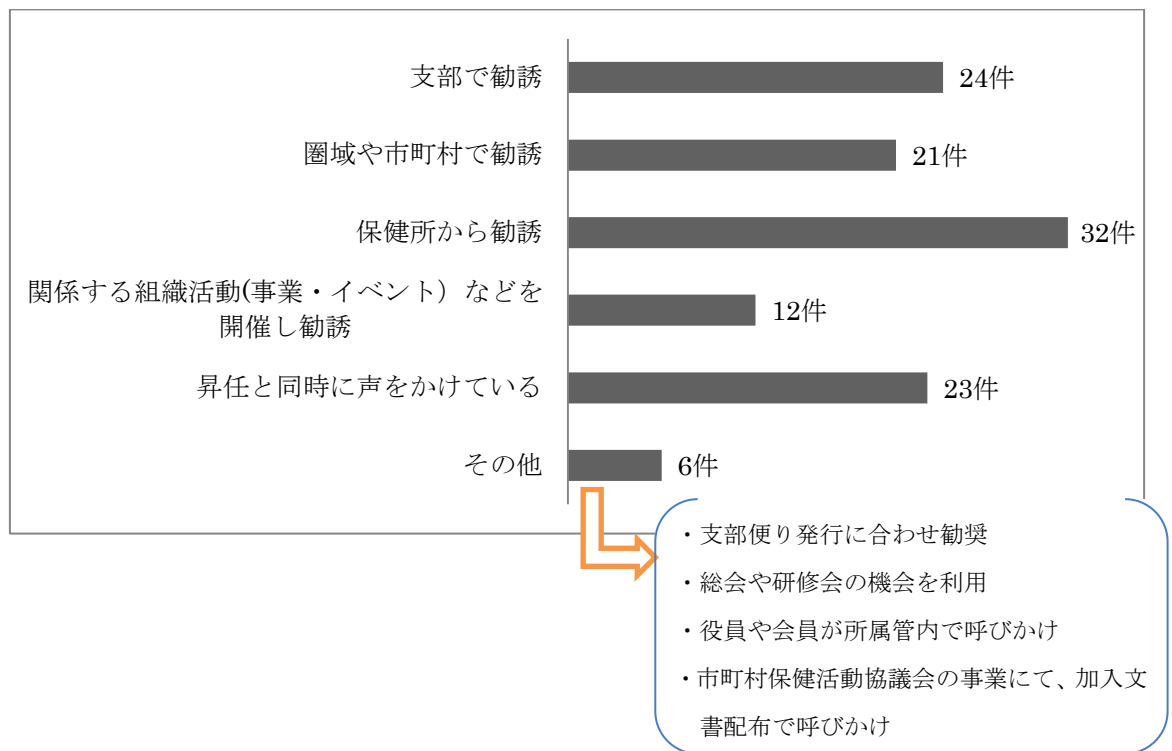


図7 加入促進に向けての取組の内容(複数回答可)

(6) 加入促進のための取り組みや工夫点

①支部だより発行にあわせた加入促進
<ul style="list-style-type: none"> ●未加入市町村にも配付し、活動内容を周知するとともに加入勧奨。 ●年1回会報を作成し、未加入市町村にも配布している。
②総会、研修会の機会を利用した加入促進
<ul style="list-style-type: none"> ●未加入市町村にも研修会について案内通知する。 会員外は参加費1,000円で参加可能。 研修内容を知ってもらうとともに、あいさつ等で会員減少の実態を伝え、加入を呼びかけている。 ●会員から未加入者、未加入市町村へ声かけをし、勧誘を働きかけるよう呼びかけている。 ●府が実施する研修会等でPRしている。 ●年2回の研修会について未加入市町村に案内通知を送付し、参加を依頼している。 ●当会の研修・地区別交流会を案内し参加者に会を紹介している。 ●年1回ブロック別交流会を予算化している。この交流会は会員外も参加を声かけしているため、役員等が出かけて加入を声かけする場合もある。 ●地区座談会で勧奨。 ●研修会において、一部公開講座を実施している。
③役員等の加入促進活動
<ul style="list-style-type: none"> ●圏域、市町村、保健所からの勧誘は組織的には行っていないが、役員が自主的に自身の管内を中心に加入を呼びかけている。 ●会員を通じて未加入市町村の保健師に働きかけを行ったり、保健所の保健師を通じて、管内市町村の保健師への働きかけを行って来たが、支部として組織だった動きをしてこなかった。
④その他
<ul style="list-style-type: none"> ●市町村保健活動推進協議会に声をかけて加入案内をしている。(加入案内文書配布)

(7) 会員拡大や勧誘・支部活動について日ごろお考えになっていること等

【勧誘方法】
・保健所については、昇任と同時に個別に案内、未加入者にも個別に声かけ
・保健所の統括保健師から、未加入市町村への電話等の勧誘
・看護大学にいる保健師に対する勧誘通知
・未加入自治体の保健師リーダーに管轄保健所の保健師リーダー等が直接勧誘している。
・会員の拡大については、市町村連絡協議会の研修会や会議等で入会の案内をしているが、保健師長クラスの入会となると直接的に会活動内容を伝えて了解していただいている。直接勧誘することにより、入会数は増えていると思う。また、支部ニュースなどで全国保健師長会活動のPRを行っているが、一番メリットとなるのは調査研究事業の成果品が各市町村にも配布されていることをPRすると効果的です
・個人的つながりでの私的勧誘も既会員に依頼するなどして加入を促している。支部役員会で非会員施設の加入促進に関する検討を行い会員に依頼する、県内保健師の組織的活動を旨としOB保健師を講師に招くなども行っている。
・昇任の人には師長会の活動内容の説明と、管理職は歴代全員入っているとお伝えしています。
・各保健所の筆頭保健師等から管内市町村保健師に対して師長会加入の働きかけを行っている。その際、師長会リーフレット及び埼玉県支部で作成した会員勧誘チラシを活用している。
・新たに加入した方が会の活動に関心を持ち続けていただくために、圏域毎に配置している役員が声かけや情報提供、活動の説明などフォローを行っている

・毎年度、新規に係長ポストについた保健師に個別に各保健所の連絡員から声かけしている。
・保健所管内毎に声をかけあっている。
・昇任時の職場内での声かけが効果的だと思われる。
・支部総会の案内を送付する際に、係長に承認した保健師や入会していない係長以上の保健師の入会について、勧誘をお願いしている。
・保健所単位に1名配置している連絡員が「全国保健師長会入会のご案内」のパンフレットを渡して、個別に勧誘
・未加入市町村に出向いて、また保健所主催の会議等を利用しリーフレット(入会のご案内)を用いて説明している。
・担当者を決め勧誘したり、数年かけて勧誘を継続することで入会した市町がある等、粘り強く実施していく大切さを感じた。
・市町村保健師協議会等での紹介や電話による勧奨等
・保健所の健康づくり課長などから研修会へのお誘いや保健師長会の必要性についての説明をおこなっている。
・圏域ごとでの勧奨や同じ市の職員への声かけ
・支部運営に市町保健師の意見をより反映させていくため、平成24年度から役員(副支部長)として支部の運営に参画してもらっている。市町保健師への加入促進についても市町役員からも機会を見つけて勧誘している。
【総会・会議等】
・26保健所開催のリーダー会議等の機会を活用し周知や加入案内(呼びかけ) ・総会案内時、(26保健所の協力を頂き)市町村に向けて加入案内(通知)
・地区座談会に於いて参加者に入会勧奨(活動報告等)
【会報等の活用】
・H26年度から、保健師長会の活動を広く周知するために、「県保健師長会ニュースレター」を年3~4回発行。会員以外にも周知を図り、会員が少しずつ増加している。
・支部ニュースの中で、総会のお知らせと併せて新規会員の募集をしている
【研修会への参加】
・研修会の案内についても、会員以外に広く周知。
・研修会では、会員外の保健師にも声をかけて関心を持ってもらうようにしています。(少額の参加費の負担で参加) ・支部の研修会で一般の人にも呼びかける時は、保健所保健医療総務課に依頼し、研修会情報として正規職の保健師全員に情報提供という形で配信してもらっています。(保健師長会の存在を少しはアピールできていると思われそうです)
・今年度の研修会では会員外から参加費を徴収せず、未加入者の参加を促し、研修会の場で加入を呼びかけた。
・今年度は支部会員以外に研修への参加に広げ、研修参加時に勧誘を行いたいと考えている。
・研修会等の内容によっては、次期会員候補者にも声をかけ参加してもらっている。
・今年度の研修会は非会員にも呼びかけ、活動内容を周知すると共に、加入の呼びかけを行いました。
・県が実施するリーダー保健師研修会で保健師長会について説明、入会促進を2年実施したが、効果は確認はできず。
・保健師長会の活動の内容や加入してもメリット等について、未加入市町村等への働きかけが不足していたことから、今年度は未加入者も対象にした研修会を開催して、会員の拡大に努める。

【メリットの還元】
・入会のメリットが少しでも還元できるよう、知りえた情報は早急に報告していることと、顔合わせや研修の場を持つよう取り組んでいます。
【その他】
・保健師長会という名称を保健師会に変更し、若い年代の保健師の加入促進を図った。
・県、市町村とも、所属で一定の役職に就いた時点で会員となるとの認識が定着しておりますので、改めて加入促進の取り組みを行うことはありません。過去に加入を躊躇された市に対して、管轄の保健所課長が説得に当たった例があると聞いております。
・全国保健師長会のホームページより事業計画等を庁舎内保健師へ供覧している。また全国保健師長会研修会等へ参加した際には会員及び庁舎内保健師へメールで情報提供している。 本島での研修会の際、離島会員への旅費を一部負担している。

(8) 市町村の加入率が100%の支部の特徴

◇A県

- ①毎年度、新規に係長ポストについた保健師に個別に各保健所の連絡員から声がけしている。
- ②公費の県外研修派遣などが縮小している現状があるので、保健師長会の県外研修派遣をブロック毎に計画的に回し、県外での研修旅費を補助している。
- ③年1回ブロック別交流会を予算化している。この交流会は会員外も参加を声かけし役員等が出かけて加入を声かけする場合もある。
- ④年2回の研修会では講演とグループワークをセットして企画している。

◇B県

- ①一定の役職で加入する認識が定着している

2、未加入市町村保健師（代表者）を対象としたアンケート調査

(1) 回答状況

前述の都道府県支部調査で把握した未加入市町村数 834 のうち、397 の市町村より回答を得られた（回答率 47.6%）。

(2) 全国保健師長会の認知度

未加入市町村保健師（代表者）に、本会について知っているか尋ねたところ、「知っている」が 51%、「名称等は知っていても活動は知らない」が 44%だった。全く知らない市町村は 5%と少なかった。

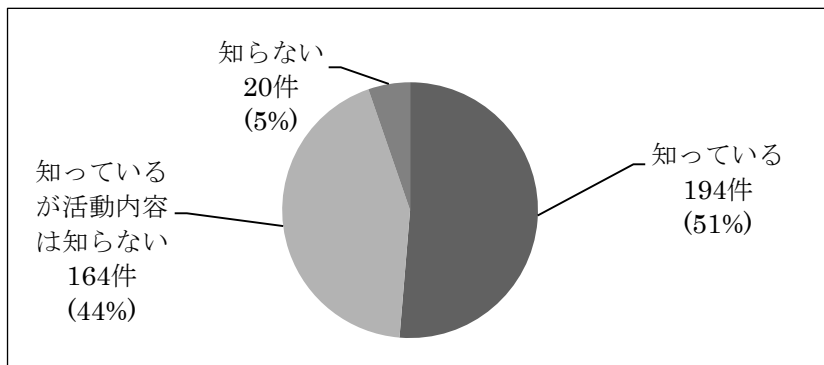


図8 本会の認知度

(3) 未加入の理由

未加入の理由は、「活動については知らないため」が一番多く、次に「業務が多忙」、「加入要件に該当する職種の保健師がない」が続いた。

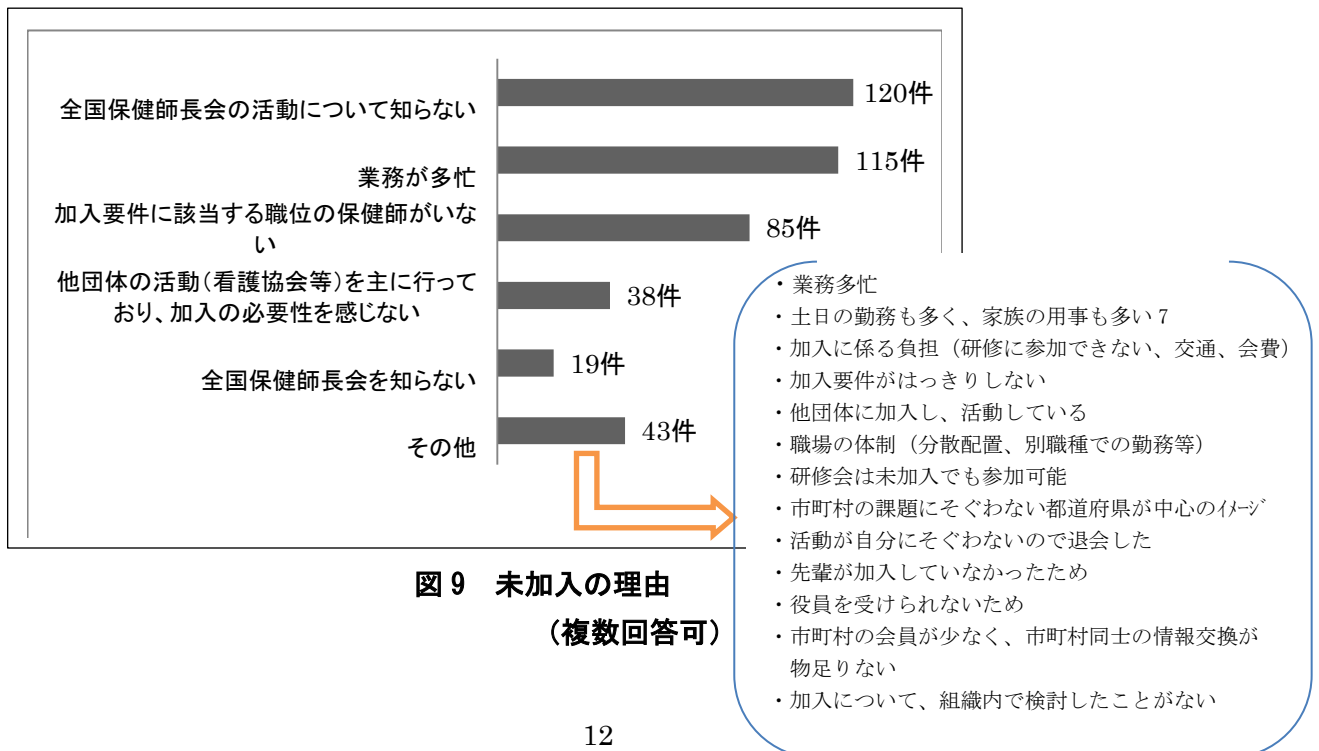


図9 未加入の理由
(複数回答可)

(4) 加入に向けての働きかけ

加入の働きかけについては、「ある」と答えた市町村は49%で、働きかけの方法は「メールや電話による働きかけ」が97件と一番多かった。

支部の回答では100%が加入への勧奨を行っているという結果だったが、未加入市町村の回答では加入の働きかけがあったと感じたのは約半数となっている。

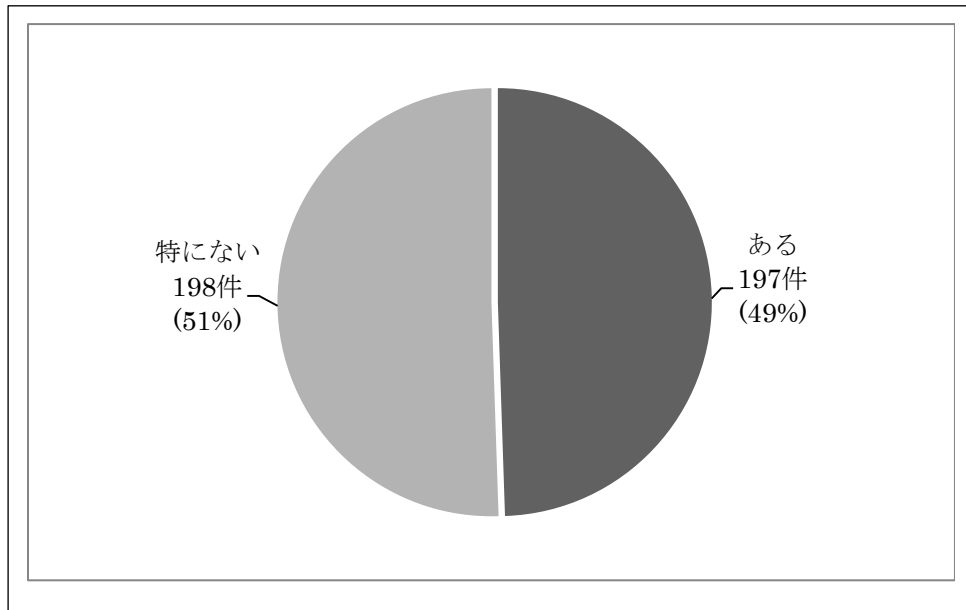


図10 加入に向けての働きかけの有無

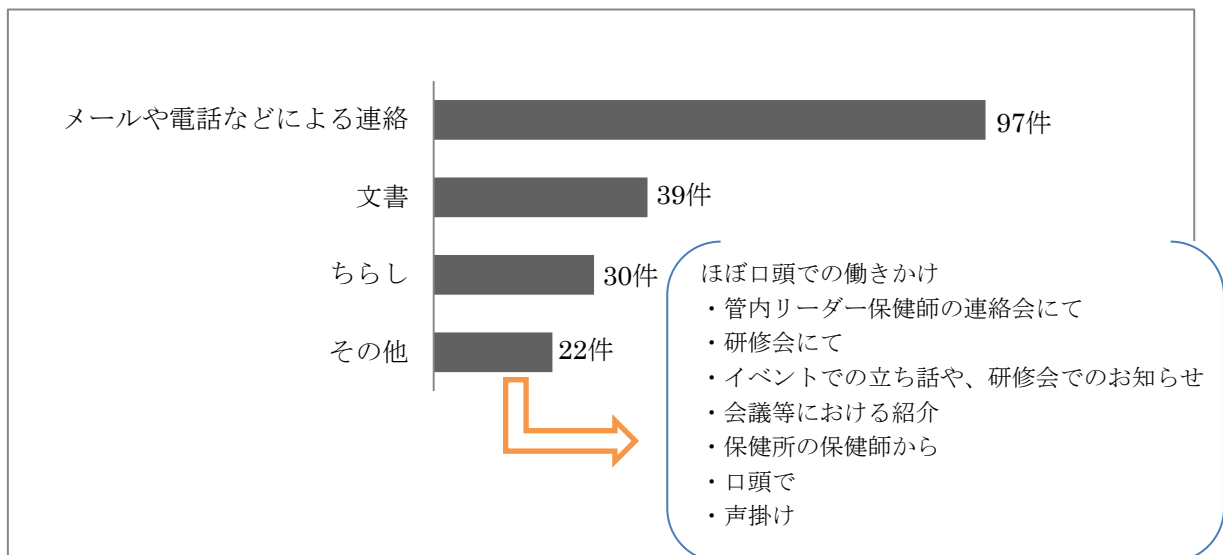


図11 加入の働きかけの方法（複数回答可）

(5) 意見等自由記載

【加入に係る負担】
<p>・保健所等の保健師長が集まり、リーダーの資質向上を図る事はとても大切なことであると思います。しかし、保健師及び看護職の様々な団体がある状況では、いくつもの団体に加入することは、難しい状況にあります。</p>
<p>・看護協会や管内保健師連絡協議会等の活動があり、加えて本会への加入となるとやや負担になってしまいます。自己研鑽のために必要とも思うが、他の団体が優先となっています。</p>
<p>・活発な活動をされていることに対し心苦しく思っておりますが、現在の業務をすすめることだけでも大変な状況であり、加入することによる負担感を考えると、加入はお受けできないと考えております。</p>
<p>・役職がいろいろあって、加入条件が曖昧なため代表者が決められない。町村会を通して加入・負担金などしてもらえると加入について検討できると思う。</p>
【業務多忙・余裕がない】
<p>・加入することのメリットを具体的に教えてもらいたい。 業務多忙のため会議や研修会への出席が困難であり、遠方での会議等の実施では交通費が必要となり参加しにくい状況です。職場の理解を得るための、材料を教えてください。</p>
<p>・全国での活動を知れたり交流があるのはすごくいいのですが業務が忙しく余裕がありません。自分が加入していなかったのの後輩に勧めることもなかなかできないでいます。</p>
<p>・個人的な横のつながりにより、誘われて加入していた時期があったかと思いましたが、業務多忙となり研究会等に出席できなかったことをきっかけに未加入となっています。 全国の研修等興味のある活動もありますが、なかなか自由に参加できる状況でなかったために、自ら進んで加入しようという意識には至りませんでした。支部の活動には参加したいと考えているので、具体的な加入の案内や継続加入の手続き等分かれば、行いたいと思います。</p>
<p>・昨年度、統括保健師が退職。現在、中堅保健師及び新任期保健師の2名体制。 育休中の中堅保健師は再来年度復職予定であり、3人全てが子育て時期の保健師であり、事業及び業務をこなす事で精一杯な状況。時間外でこなす保健師業務体系は他市町も同様であり、大きな組織として改善できるよう働きかけていただきたい。看護師と比べて認知度や評価が低い。</p>
<p>・本市は保健師数も少なく、業務が多忙のため加入は難しいです。</p>
<p>・保健活動が様々に見直されているので、自身を高める必要性をいつも感じています。業務が多忙で、更に小規模な自治体で難しいことも多いですが、後輩の保健師に伝え、引き継ぐ役割をきちんと行いたいです。</p>
<p>・全国になると、遠い存在のように感じます。日頃の業務、市町村保健師協議会での活動で手一杯の状況です。</p>
<p>・小規模町の保健師は管理と現場の実務で保健師長会等の活動に参加できる余裕がありません。 県の保健師長会も会費1万円払ただけで1回も会議に出席できませんでした</p>

【業務多忙・余裕がない】 続き

・活動の質の向上にご尽力していただいていることに感謝しておりますが、さまざまな情報が流れてくる中、私自身師長会の活動まで目を向ける気持ちになれませんでした。申し訳ありません。

・他の保健師の皆さんの取組みを聞かせていただくことは重要と思って降りますが、現場が人員不足のままで業務に追われており、時間が取れない状況です。

・会員の質と地位の確保のため必要な団体と認識しているが、研修等に参加できないため直接メリットを感じにくい。既存の協議会もあり、業務が多忙で役員の負担も大きい。加入に向けて個々人に意見を聞いてみるなど検討したい。

・以前、何年間か、加入していましたが、会費を支払うのみで、1回も参加しないことがよくあったので、現在は加入していません。町の行事や、包括支援センターの行事、日直などで、休日に出勤することも多く、なかなか参加できません。

・道内の研修会には参加させていただいたことがあり、リーダーの資質向上のためには必要と思います。係長職の年代はリーダーに対して様々な期待・意見があると思いますが、定年近くになってリーダーになると記憶力理解力様々な処理能力が低下してきており、リーダーとは言え現場業務に追われている状況です。そこを特に小さな市町村はどうしていったらよいか、よくない連鎖を停めるためにはどうしたらよいか…(感想ですみません)

【活動内容・PR不足】

・活動内容を十分に理解していない状況のため、特に意見等はありません。

・年度当初に保健所よりお誘いをいただきましたが、管理職についている者がいないため見送らせていただきました。加入を勧めるのであれば、(活動内容がわからないので)簡単な案内文等をいただけたらよいと思います。

・保健所保健師の会として認識していました。他地域の状況を知ることは必要かと思いますが保健師長会とあると参加するのにハードルが高いです。中堅の保健師が介護保険事業担当となり、若手保健師が保健事業を担っている地域が増えています。気軽に悩みを聞いたり、相談しあえる集まりがあればいいなと思います。

・ホームページ等で活動内容を確認させていただきます

・公務での活動なのかが不明。

・災害時保健活動マニュアル等参考になりました。

・保健師長会の意義や活動をわかりやすく説明したパンフレットがあると良い

・活動団体の内容周知がまず先決だとおもます。組織や支部の代表の方もわからないのが現状です。

・全国保健師長会の構成や活動内容・加入方等具体的な文書の送付をお願いします

・活動内容を知らないため、特に意見はありません。

・活動をよく把握していないので、活動の様子がわかると加入に気持ちが動くような気がします。

・全国保健師長会の名前を地域保健(月刊誌)で見るだけで詳しいことはわかりません。

・全国保健師長会の冊子(災害等)は拝見させていただいております。

・今年の4月当初、地元の健康福祉センターに異動してきた方より、会への加入を勧められました。その際に、パンフレットを読んで、昭和54年に会が発足していたことを知った次第です。また、会のことを初めて知ったのは「大規模災害における保健師活動マニュアル」を拝見したことからです。私の認識不足ではありますが、PR不足ではないかと感じました。

【活動内容・PR不足】 続き

・近年は、市町村と都道府県、政令市に求められる事、業務内容の違いが明確化されてきているように感じています。その中でそれぞれが求める事柄についても違いがあるのではないかなあ・と思います。
活動内容もはっきり知らない者が、意見を言って申し訳ありません。

・師長レベルになってからの加入という気分にはなれない。本来なら、新採時期から中堅期を通じて情報交換したり、悩みを共有できていれば、師長レベルになっても繋がっていきたいと考えるかもしれないが、昔に比べ広域での情報交換の機会を持つことができる機会が少ない労働環境であり、敢えて加入することの魅力を感じないし、パワーが残っていない。

・大変に興味はあるが、研修に出かけたり、会費がいくらかわからない(看護協会くらいあればきつい)などあり、入会していない。定期的な情報提供や支部会などあれば出やすいかもしれない。

・全国保健師長会の活動は、加入者から教えていただいたり、保健衛生ニュース等で確認し参考にしております。今後ともよろしくご指導お願い致します。

・どのような活動をされているのか関心はある。今回も申し込もうと思っていたが、気づいたときには申込期限が切れていたため残念です。

・保健所が開催している統括保健師の情報交換会で全国保健師長会からの情報を提供してもらっています。人材育成等について業務の中で役立つ情報で助かっています。

・振興局から情報を頂いていますので、当町の様な小規模町村に生かすことのできる情報等や活動内容があれば、次期リーダーに該当する保健師等へ引き継いでいきたいと考えています。

・保健師長の名称から、ハードルが高いイメージである。統括保健師がいるところであればわかりやすいが、分散配置が進みかつ投資のように保健師のトップが保健師業務をしていないところは人選も困難である。また、活動についてもこれまでは認識していなく、PR不足を感じる。また、メリットもわかりにくい。

・県の保健師から連絡をいただいているので、活動内容等については目は通しておりますが、加入して活動できるかという点難しいです。

・紙ベースの内容案内等は見たいと思うが、個人的に入会金を払うものについては入会の必要性を検討したい。また、職場で保健師長という名称は用いていない為、認識が薄くなりがち。

・国保・看護協会等の団体加入と重なるため、時間的に多忙であり、優先順位が低い。あまり市町村保健師活動に役立つとは思えない。会員になるかならないかは個人の裁量に任せられると思うので、加入促進に積極的になりにくいです。

・保健師3名で活動しておりますが、師長職や主査(係長)の役職付き保健師がいない現状にあります。リーダー的な立場での加入が可能なのでしょうか？会に加入したとしても、研修や会議の場所が常に遠い地域(東京等)で行われているとすれば前もっての旅費等の予算計上が必要です。加入していない市町村に対しても年間の活動状況の情報提供等があると加入の検討もできるのではないかと考えます。また、市町村の加入状況が低いことが課題であるとするならば、加入の検討がしやすい工夫(市町村長宛の公文書や担当部署等から市町村課長職等への直接の働きかけ等)が必要なのではないかなと考えます。今まで加入していなかった会への新規加入のためには予算化するだけの必要性を上司に理解を得る必要があります。

※市町村の加入状況が低いとのことでしたが、保健所師長等会員のみなさまは個人的に加入されている方の方が多いのでしょうか？

【加入要件】
・副課長の権限はないので対象にはならないと思っていました。
・加入についての詳細については存じませんでした。
・統括的保健師が不在の場合の入会対象者は誰になるのかが不明。
・会員の資格で「市町村に勤務し保健師帳または保健師帳の業務を担当する職にあるもの」という内容が分かりにくい
・対象職位の該当者がいないため勧奨はなし。会員以外でも出席可能な研修会への案内はあった。
【体制等】
・辺地にいて財政難のため、出張旅費はもとより給与カットも余儀なくされている状況であり、総会や研修会に参加することもできない状況が10年くらい続いております。いかに効果的に自分に必要な能力を身につけるか、その中での選択であることをご承知いただければと思います。
・保健師長会に加入するに当たっては複数保健師を抱える職場に統括する保健師の必要性を他の職種や人事が感じていない。職場全体に周知が必要と考える。
・市町村は、住民の健康課題の解決と、社会保障制度の安定のために県や全国の保健師と連携をとりながら活動しております。
・法律や制度変遷により、保健所機能と市町村業務や役割は大幅に変化している。職種としての共通性はあるものの、現在の健康課題や施策、学習内容等も共通する内容が異なってきているため、師長会という組織で、共通の学習や活動することが難しくなっていると実感しています。
・様々な立場で仕事をする保健師が増えています。「統括保健師」もいる中で、「保健師長」というネーミング自体も時代に添っていない気がします。
【その他】
・未加入にも関わらず研修会の案内をいただき、参加させていただいております。国や道の保健活動の動向や日ごりの活動に示唆をいただく機会として学ばせていただいております。加入を検討させていただきたいと思っております。
・役員の皆さまは、本来のご自分の職場での業務・役割をこなしながら、その上で全国保健師長会の活動をされているとお聞きし、パワフルで大変素晴らしいと感じております。また、国への意見提言もされており、時代に沿った保健師活動を推進する上で貴重な役割を果たす団体だと思います。私たちが会員加入について勧めていく必要があると感じました。
・県から研修の案内は来る
・保健師の質、向上にご尽力を頂き、感謝いたします。医療、介護に至らない為の予防の視点に徹した保健活動を指針に沿った形で、保健師が活動できる体制づくりを一層推進して頂きたいです。宜しく願いいたします。
・研修会の開催地が遠距離では、参加しにくいこともあります。
・次年度入会を予定していたところです。今後ともよろしく願いいたします。
・地区内での開催で、身近な感じになり参加しようかという気持ちになってきました。
・特に意見はございません。(H27年4月に異動で現職についたのですが、勧誘については、一度保健所から連絡をいただきましたが、まったく余裕のない時期だったのと、前任の方も加入されていなかったことから加入は考えませんでした。)

V 考察

1、支部長のアンケート調査から

- (1) 市町村の加入状況は 55%が未加入で、加入促進の必要性を改めて実感した。
加入している市町村では、複数加入しているところが 66%あり、加入する市町村は複数加入、しない市町村は一人も加入しない傾向があることから、互いに声を掛け合うことや、活動を伝えることが加入促進につながると思われる。
- (2) 支部の年会費は 2,000~3,000 円が半数以上を占め、会費の負担を減らして会員拡大につながるよう工夫されていた。
また、繰越金を活用して、会員の県外旅費の助成を行うところや、離島の会員に研修会への交通費を一部助成するなど、加入のメリットにつなげている支部もあった。会員数が多い市では支部会費が少額の傾向があり、会費のため入会を躊躇することがないようにと、会費を無料もしくは 500 円とするなど、それぞれの支部で工夫を凝らし活動している現状がうかがえた。
- (3) 研修会の内容は、統括保健師等に関するテーマも多いが、多岐にわたる実務的な内容も多く、質の高い研修を工夫して行っていた。都市部から講師を依頼する研修もあるが、地元や近隣地域の大学や行政機関等の講師やOB保健師を講師とする研修も多かった。多岐にわたる分野の質の高い魅力的な研修を企画して、未加入市町村への研修参加を呼びかけ、本会への加入促進につながるよう工夫されており、このようなきめ細かな取り組みが加入促進につながっていくと感じた。
- (4) 加入への勧奨は、95%以上の支部が実施しており、支部や保健所からの勧誘の他、支部主催の研修会を企画して参加できるようにする他、支部便りを発行して勧奨する支部も数か所あった。どこの支部も工夫してきめ細かく勧奨を行っており、現場の奮闘がうかがえた。
昇任した際に声掛けしている支部も多く、口頭での直接の声掛けがよいという意見も多かった。一方、市町村現場の状況がわかるからこそ、強く勧奨できないと意見もあり、保健師長会の存在意義を会員自身がどう伝えていくかが課題であると感じた。
- (5) 加入率が 100%の支部では、リーダー的役割に昇任したら入会する機運が引き継がれており、ブロック別研修会を開催するなど活動も活発だった。また、加入を躊躇する市町村に、支部が説得して加入に至るなど一歩踏み込んだ勧奨を行っている支部もあった。背景には、都道府県と市町村の関係性や、これま

での保健師長会の活動の認知等、個々の支部の特徴が感じられた。

2、未加入市町村保健師（代表者）のアンケート調査から

- (1) 今回の調査では、「保健師長会の名称を知っている」は95%と多かったが、「活動内容を知らない」が44%あり、活動内容や情報が未加入市町村に届いていない現状がわかった。また、未加入の理由も「活動を知らないから」が一番多く、加入促進に向けては、保健師長会の活動内容の効果的な情報発信について工夫していく必要がある。
- (2) 自由記述からは、保健師長会は都道府県保健師の活動が主という考えを持っている人もあり、支部活動の中できめ細かく情報発信をすることにより、加入促進につながっていく可能性を感じた。
また、未加入理由に「研修等は入会しなくても受けられる」「看護協会に入会している」等もあり、保健師長会の職能団体としての活動目的や存在意義等についてしっかりと発信していくことが大切である。
- (3) 加入に向けての働きかけについて、支部を対象とした調査では95%以上が行っていると回答しているが、未加入市町村では、働きかけがあるとの回答が45%に止まることから、両者の認識に差があると推察される。今後、研修会や会議等での勧誘方法について検討していく必要がある。
- (4) 働きかけの内容としては、直接一人一人に声掛けるといった取り組みもあり、会議や研修時だけでなく、イベントでの立ち話や、私的なつながりを通して働きかけるなど、支部の細かな努力が伺えた。
- (5) 市町村の加入が少ないので、支部研修会でも市町村同士の情報交換や交流が薄くなる。よって未加入が多いという悪循環に陥っている支部が多かった。
一方、市町村会員の中には、「支部活動の充実が入会のメリット」「市町村同士の情報交換が魅力」と感じている人も多く、研修時にグループワークを設定している支部も多かった。支部活動においては、身近な支部における保健師活動についての情報交換が、会のメリットや魅力につながっている。
- (6) 災害対策マニュアルや人材育成関係の研究がとても役立ったとの声も複数あり、直接、業務に生かせるこのような取り組みも効果的であると感じた。

VI まとめ

(1) 市町村の加入については、保健師長会の名称は知っていても活動内容等を知らない未加入市町村も多く、勧誘の際の活動内容の伝え方などの工夫が求められている。また、市町村の保健師統括保健師としてのあり方の考えが大きく影響しているという意見もあったため、

未加入市町村の加入促進については、統括保健師への意図した働きかけが必要と感じる。

(2) 加入のメリットのPRが必要との意見も非常に多く、全国保健師長会の活動である、質の高い公衆衛生看護に向け地盤を底上げするための国家要望や研究助成・情報発信等だけでは、現場の市町村にとっては直球で届くメリットとしては薄いと感じられている。魅力ある支部活動や現場に有効活用できる研究結果等の情報収集や情報交換のネットワークの拡充など、活動現場で感じられるメリットが求められていると思われる。

しかしながら、前述の保健師長会の活動の成果があつて、市町村の活動現場が向上していく「つながり」を会員自身が意識することが必要だと感じる。

(3) 今後に向け、支部の役割の重要性を再確認するとともに、未加入市町村に我々の役割を伝えきれていない現状を踏まえ、都道府県支部はこれまでのように、広域に気配り・目配り・声掛けをしていくことで、着実に加入促進につながると思う。そのような支部を、ブロック、本部、部会等が重層的に支えることができるよう体制を維持強化することが、全国の現場の保健師を支えることにつながる。

今後も、引き続き、市町村保健師の加入促進に取り組んでいきたい。

VII おわりに

今回、全国保健師長会の重点目標である未加入市町村の会員拡大を目的とし、都道府県支部と未加入市町村にアンケート調査を行った結果、都道府県支部による魅力的な研修会の開催、会費額の配慮などが会員拡大につながっていることが明らかになった。また、昇任のタイミングを活用した勧誘も有効であった。

未加入市町村の代表保健師は、全国保健師長会の役割や加入要件を十分知らず、都道府県保健師が加入するものと捉えていることが明らかになり、また、業務多忙な市町村保健師に対して勧誘しづらいと考える都道府県支部があることもわかった。

本調査によって明らかになった課題をもとに、支部・ブロック・本部が一体となっ

て、市町村に対して全国保健師長会の役割、会員要件、取組内容、加入上のメリット等を発信し続けることが重要である。

調査にご協力いただいた都道府県支部の皆様、未加入市町村の代表保健師の皆様に深く感謝申し上げます。

<参考>

1、都道府県支部用調査票

全国保健師長会都道府県支部長 各位			
全国保健師長会加入促進に向けてのアンケート調査			
【支部名】 ()			
【調査内容】			
下記の調査項目について、該当する内容または番号をピンク色の回答欄にご記入ください 回答欄			
Q1.貴支部の加入・未加入市町村数は？	加入市町村(政令市・中核市・特別区除く)	市 ⇒	
	市・町・村の数を、それぞれ入力して下さい。	町 ⇒	
		村 ⇒	
	代表保健師のみ加入している市町村数を入力してください ⇒⇒		
	未加入市町村	市 ⇒	
	市・町・村の数を、それぞれ入力して下さい。	町 ⇒	
		村 ⇒	
Q2.貴支部の年会費の金額と主な事業の回数及び内容についてご回答ください。	年会費	年会費 ⇒	
		内訳(支部会費) ⇒	
		(本部会費) ⇒	
	事業内容 ※それぞれの開催回数を入力して下さい。	総会 ⇒	
		研修会 ⇒	
		その他 ⇒	
	研修会の内容を下記にご記入下さい。		
記入例:シンポジウム テーマ「○○○……」			
Q3.会員の加入促進に向けた取組などを実施していますか？	どちらかを選んで回答欄に1を入力して下さい。	実施 有	
		実施 無	
Q4.実施されているところは、どのような取組ですか？ 該当するものについて回答欄に1を入力して下さい。(複数回答可)	・支部で勧誘している		
	・圏域や市町村で勧誘している		
	・保健所から勧誘している		
	・関係する組織活動(事業・イベント)などを開催し勧誘している		
	・昇任と同時に声をかけている		
	・その他(具体的にご記入ください)		
Q5.加入促進のための取組や工夫している点をご紹介下さい。(自由記載)			
Q6.会員拡大や勧誘・支部活動等などについて、日頃お考えになっていることなどご記入下さい。(自由記載)			
※ご協力ありがとうございました		全国保健師長会市町村部会	

2、未加入市町村用調査票

平成27年度 全国保健師長会加入促進に向けてのアンケート調査		
《調査趣旨》		
<p>平成26年度全国保健師長会加入率は広報委員会の調査によると、市町村保健師では24%で、道 府県64%や政令市等58%と比べ、かなり低い状況です。この現状を踏まえ、市町村保健師の皆 様の本会加入状況について実態把握及び分析を行い、加入促進の取組の資料とするとともに好事 例の収集と発信を行い、市町村会員の拡大につなげることを目的に、アンケート調査を実施させ ていただきたいと思います。</p> <p>つきましては、大変ご多忙の折お手数をおかけいたしますが、下記アンケートにご協力をお願い いたします。</p>		
下記の調査項目について、ご記入または回答欄に「1」をご記入下さい。		
【回答者について】		
市町村名		
名前		
役職		
連絡先	電話番号	
	Fax番号	
	メールアドレス	
【調査内容】		回答欄
Q1 全国保健師長会をご存知ですか？	1 知っている	
	2 知っているが、活動内容については知らない	
	3 知らない	
Q2 全国保健師長会に未加入の理由についてあてはまるものをお選びください。（複数回答可）※回答欄に1を入力してください。	1 全国保健師長会を知らないため	
	2 全国保健師長会の活動について知らない（または興味がない）	
	3 加入要件に該当する職位の保健師がいないため	
	4 業務が多忙のため	
	5 他団体（看護協会等）の活動を主に行っており、加入の必要性を感じないため	
	6 その他（ ）	
Q3 全国保健師長会の加入に際し、支部及び保健所からの働きかけはありますか？	1 ある	
	2 特にない	
Q4 Q3で「ある」と回答した方にお聞きします。どのような働きかけがありますか？（複数回答可）※回答欄に1を入力してください。	1 ちらし	
	2 文書	
	3 メールや電話などによる連絡	
	4 その他（ ）	
Q5 全国保健師長会の活動において、ご意見等がございましたらご記入ください。		
★ご協力ありがとうございました。		全国保健師長会市町村部会